

2022 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	りあるぼいすじっこういいんかい	
団体名	リアルボイス実行委員会	
代表者名	増田美佳	
連絡先	住所	岡山市南区郡 902-85
	TEL	090-1359-2007
	E-mail	realvoice.e.c@gmail.com
	URL	
設立年（西暦）	2019 年	
助成活動名	第 3 回リアルボイス TODOKERU 発表会&SHIRITAI 勉強会&学生福祉国会 in 岡山	
助成額	200,000 円	
活動内容	目的	<p>障害や病気を抱える人の兄弟姉妹＝きょうだいについて、今まで周りから見過ごされてきたそんなきょうだいが抱えやすい各年代ごとの悩みや問題をまずは知っていただき、その支援の必要性について一緒に考えていただく機会の創出を目的としています。</p>
	内容	<p>発表会では、きょうだい達が日頃感じていながら誰にも言えなかった悩みや思いを、岡山の演劇人が、その方に成り代わり、きょうだいのリアルな声を演劇という表現方法でお伝えします。</p> <p>勉強会では、きょうだいの思いや障害や病気を抱える家族について、その支援の仕方や関わり方などをより深く掘り下げる 3 人の講師による勉強会を以下のように行いました。</p> <p>①体験型ワークショップ ②きょうだい当事者の座談会 ③あいサポート運動についての講座</p> <p>学生福祉国会は、岡山県下の学生による福祉をテーマとしたプレゼン大会を行い、今回のテーマは「ヤングケアラーについて社会ができることは」でした。5 大学 7 チームの学生が参加し、くらしき作陽大学のチームのプレゼンが最多投票となりました。</p>

	<p>成果</p>	<p>発表会 2 日間 120 名 勉強会合計 77 名 学生福祉国会 103 名</p> <p>ハイブリッドにて</p> <p>合計 300 名</p> <p>配信と同時に対面での開催を行えたことで、より細やかな情報発信と啓発に繋がりました。今回新たに開催しました学生福祉国会では、今後取り組むべきことや新たな課題を見つけることができ、次世代を担う若い世代の方々にも福祉について、より関心をもってもらえる機会となりました。</p>
<p>今後の課題と対応策</p>	<p>実行委員の少数精鋭化での企画推進のため、実施する際の実務に関して業務過多に陥る状況にあり、かなりの負担がかかることとなりました。また、活動資金につきましても安定した資金調達の方法を模索中です。これらにつきましては早急に考えていきたいと思っております。</p>	
<p>写真の提出</p>		

--	--